

# 3サンハイツせけんばな紙

第 41 号

令和7年4月1日

編集責任者

田島康弘(3-101)

作成責任者

渡邊芳憲(9-503)

編集委員

小松清明(10-501)



団地内の野草  
田島康弘(3-101)  
オオバコ(大葉子)  
別名 車前草(シャゼンソウ、オオバコとも読む)  
3号棟の前で見つけました。  
普通は道路の脇など踏まれて固くなった地面でよく見られます。その理由は車や人に踏まれても強く、また種子が水分を含むとゼラチン状に膨らみ、これが靴の裏などにくっついて運ばれるからです。別名の車前草もここから来ています。  
4月〜10月には草の中央から花穂<sup>カスイ</sup>を伸ばし、緑色で目立たない花を咲かせます。  
葉や種子は咳止めなどの薬用として知られ、若い芽は食べられます。また、乾燥させた葉はお茶(オオバコ茶)になります。  
花言葉は「足跡」や「足跡を残す」です。

## 4月行事予定

詳細はL.L.かもいけ133号に

3日(木) ◎鴨池小学校 入学式準備(新6年生登校)

7日(月) ◎鴨池小学校 始業式・入学式  
◎鴨池中学校 始業式・入学式

9日(水) ◎火災予防の日(毎月9日)

10日(木) ◎鴨池中学校 学級・学年PTA(2・3年生)

12日(土) ◎鴨カムサタデー 12:00~13:30 校区公民館前松林  
・鴨カムお結び(提供完了次第終了)  
料金:18歳以上/300円、18歳未満/200円、未就学児/無料  
・スマホ相談会 予約不要

15日(火) ◎鴨コミュ・鴨小PTA合同リサイクル活動 7:30~8:00 鴨小正門、東門

17日(木) ◎成人学級・女性学級 開講式&ゆるっとウォーキング 10:00~ 真砂福祉館  
合同開講式後県庁周辺を自由散策 申込期限4/16(水)  
◎頭いきいき!音読塾 14:00~15:30 鴨池生協クリニック3階集会室

23日(水) ◎鴨かもサロン(体幹トレーニングの簡易版)  
10:00~11:20 鴨池生協クリニック1階フロア 参加費:100円

30日(水) ◎鴨池小学校 学級・学年PTA

### スマホ相談会

要予約

9日(水)、23日(水)

10:00~12:00 校区公民館

予約不要

12日(土) 12:00~13:30

校区公民館前松林

(鴨カムサタデーの一環)

### 体幹トレーニング

14日(月) } 11:00~12:00 鴨池生協クリニック5階 参加費:500円  
28日(月)

申し込み:鹿児島医療生協健康まちづくり部 ☎099-260-3532

担当者 片平さん ☎080-2739-3578

この申込みは「頭いきいき!音読塾」、「鴨かもサロン」とも共通です

※問い合わせ、申込みは 鴨池校区コミュニティ協議会事務局 ☎099-285-1522へ

(平日午前中 月、水、金9:00~12:00、火、木10:00~12:00、祝日は休み)

# カーボンニュートラルの動きについて(更新) I

渡邊芳憲(9/5/03)

## ■はじめに

自動車に於けるカーボンニュートラルの動きについては、弊紙第15号(令和5年2月1日付け)でも述べましたが、その後約2年が経過し、その間も様々な動きがありました。

そこで、改めてカーボンニュートラルについて考えてみたいと思います。

## ■これまでに起こったできごと

まず、EV(電気自動車)は、所有者・利用者ととって、充電に時間が掛かるという問題点があります。これは、1台のEVに要する充電時間が長いこと、充電スタンドの数が少ないため、その少ないスタンドに車が集中することによるものでした。

また、バッテリーは冬場(寒冷期)には充電1回当たりの走行距離が短くなることがありました。それと、最近では、それほど話題になりませんが、バッテリーが発火しやすいこともありました。これは、使用者にとって、命に関わることですら。軽視することはできない問題です。

さらに、財布に関わることでありますが、今まで乗っていたEVを下取りに出したとき、その価格が低かったことも使用者のとしての不満でした。

次に、欧米の自動車メーカーからみた問題点です。ガソリン車は、エンジンを載せて、そこでガソリンなどを燃やして、走りますが、エンジンでは、日本の自動車メーカーに太刀打ちできない欧米の自動車メーカーが、日本を排除しようとして打ち出したEVでしたが、EV販売で大きな実績を上げたのは、政府の補助金で安価に売ることが出来た中国のBYDなどでした。2022年のE

V売り上げ上位10社のうち6社が中国でした。

現在では、「2035年までにガソリン車の販売を禁止するのは無理だ」として、これを撤回する政府や自動車メーカーが出てきています。

そして、その一方で、外国では、HEVやPH

EVの人氣が高まり、売り上げも伸びました。

また、リチウム電池についても、走るときはカーボンを出さないかも知れないが、作る段階でカーボンを出しているではないか。そのため20万km以上は走らないとペイしないとかの議論も起きました。

## ■日本での動き

日本では、『「カーボンニュートラル」は、避けられない地球規模で取り組むべき課題ではあるがEV一本槍ではなく、全方位戦略で取り組むべきである』として、各方面での研究開発が進められています。

現在色々な問題のあるリチウムイオン電池について、それを解決する物として、長年の課題であった**固定電池**が出来ました。これは、電解液が個体なので、発火の心配がなく、寒さによる劣化も心配ありません。そして何より充電時間が短いという利点があります。

また、100%完成したわけではありませんが**ペロブスカイト太陽電池**が開発されました。これは、従来からある印刷技術を使って作れるため、(曲面になっている)車の屋根やボンネットに焼き付けて、そこで発電してそれをバッテリーに充電する、いわば充電不要の車にするということも考えられています。

そして、EV一択でない方向で研究が進んでい

ます。  
水素をエネルギー源とする車も研究されています。これには、二つの方向での研究がされています。

一つは、**水素エンジン**です。これは、これまでのガソリンで動く車のエンジンに替わって、水素で動くエンジンです。

もう一つは、水素を酸素と反応させて発電し、その電気でモーターを回して動く車です。

この二つとも、反応の結果、出てくるのは、水だけです。大気に影響を与えません。

## ■まとめ

電気自動車の種類と略称を左にまとめておきます。

次号では、今後の自動車の動きの残りについてと、主な自動車以外のカーボンニュートラルの動きについて、述べます。

## 現在の電気自動車の状況

**EV**(Electric Vehicle) 電気自動車

**BEV**(Battery Electric Vehicle)

バッテリー式電気自動車

蓄電池でモーターを回して動く

**HEV**(Hybrid Electric Vehicle)

ハイブリッド(電気)自動車

エンジンとモーター、蓄電池を備える自動車、外部充電不可

**HV**=**HEV**(Hybrid Electric Vehicle)に同じ

**PHEV**(Plug-in Hybrid Electric Vehicle)

プラグインハイブリッド自動車

エンジンと蓄電池を備える自動車、充電可能

**PHV**=**PHEV**(Plug-in Hybrid Electric Vehicle)に同

**FCEV**(Fuel Cell Electric Vehicle) 燃料電池自動車

水素などの化学反応で発電し、モーターを回して動く、

燃料電池があるが蓄電するわけではない

**FCV**=**FCEV**(Fuel Cell Electric Vehicle)に同じ